

青木 繁議員



町内業者と摩擦のないメニューを!

「ケープ真鶴の運営について」

今年3月にケープ真鶴に遠藤貝類博物館がオープンした。それと時期を同じくして以前より来訪者が行つてきたアンケート調査をスタッフが直接聞き取りした結果、レストラン貴船のメニュー刷新をしたとの事であるが、町内飲食店業界と摩擦の生じることのないよう、どのように運営されるのかを伺う。

ケープ真鶴で実施したアンケート結果やお客様より直接伺つたものに「刺身定食をはじめとする魚料理をもつと楽しみたかった」「メニューをもっと増やしてもらいたい等の意見がありました。



おいひどう!

町長 ビジター センターの活用は来場者数等を考慮し検討しています。

ては、経営状況の改善を目的とするだけでなく、お客様の喜ぶ笑顔、声を重視し、観光客の期待に応えるべくサービスの充実を図るためにメニューを見直しを行い、5月下旬より新メニューによる営業を開始したところであります。

また、こうしたサービスの充実により、リピーター効果も期待しています。

なお、町内の飲食店の皆さまには、同じサービスを営む者として、この店の取り組みの趣旨を競合を避ける努力をしながら運営していきます。また、お互いに切磋琢磨しながらの企業努力も必要と考えております。

メニュー内容に舟盛り等の追加の考えはあるか。

ご理解していただけるものと存じております。お互いにとつてプラスとなる効果が得られるものと考えています。

一般質問

岩本克美議員



JR真鶴駅北側斜面地に繁殖する雑木の処理について

JR東日本横浜支社との協議の中で、予算の確保ができ次第施行したいとの回答を得ています。

JR真鶴駅北側、線路沿い斜面には雑木が生茂っている。このため周辺の住民生活に、落ち葉や日照不足、野生動物の出没など、多大な悪影響をもたらしているが周辺住民からの強い要望により平成20年12月1日付文書で町長宛にJRへの折衝を行なっており、安全・安心な町を目標す真鶴町として何らかの対応の必要があると思うが、今後の対応について伺う。

これについては『議会だより』の編集中にJR東日本横浜支社に於いて、とりあえず半分の予算措置が整い、工事が行われました。残り半分は後日となるが、注目していただきたい。



工事が半分修了した現場
H22・7・18撮影



工事着手前の状況
H22・6・5撮影